



教育学部シンポジウム

21世紀を生き抜く子どもの学力形成

参加無料
定員500名
(先着順)

6/29(土) 13:00 開演
(開場 12:30)

畿央大学冬木記念ホールにて

文部科学省は、21世紀の知識基盤社会においては「課題を見いだし解決する力」、「知識・技能の更新のための、生涯にわたる学習」、「他者や社会、自然や環境と共に生きること」など、変化に対応するための能力が求められているといいます。私たちはどのようにして、そのような能力を子どもたちに養い、求められる学力を形成すればよいのでしょうか。

10周年を迎えた畿央大学では、次の10年間を見据えて教育の未来のあり方を探るため、安彦忠彦先生に学力について論じて頂き、続いて学力形成についてのシンポジウムを行います。

基調講演

13:00~14:15

「21世紀を生き抜く子どもの学力とは何か」

講師：安彦 忠彦氏 名古屋大学 名誉教授

シンポジウム

14:20~16:20

「子どもの学力形成について」

シンポジスト 松下 佳代氏 京都大学 教授
青木 聡氏 学研エディケーション教務部 部長
西端 律子氏 畿央大学 教授

何故に子どもの学力形成が重要な問題となるのでしょうか、どこで学力形成はなされるのでしょうか、いかにして学力形成は可能となるのでしょうか、学力の評価はどのように行なわれるべきなのでしょうか、学力形成を阻むものとは何なのでしょうか。

このような問題点の明確化と解決方法を探るための議論を行なおうと思います。

16:30~18:00

情報交換会 (於 食堂棟)

参加申込方法

- ①氏名、②ふりがな、③年齢、④勤務先、⑤〒住所、⑥電話番号、⑦情報交換会参加有無、
⑧メールアドレスを明記のうえ、ハガキ、ファックス、もしくはメールで、6月24日(月)までに、お申込みください。

〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2

畿央大学企画部 10周年記念 教育学部シンポジウム係あて

FAX:0745-54-1600 E-mail:kio.e@kio.ac.jp

お問い合わせ 畿央大学企画部 水野、増田、横沢 TEL:0745-54-1601

※個人情報については、本イベントの受付整理以外には使用いたしません。

詳しくは畿央大学ホームページをご覧ください。



近鉄五位堂駅下車 徒歩15分 または
バス(2番のりば 園王寺駅行・園馬見北1丁目行 馬見中5丁目下車(約5分))
公共交通機関ご利用のうえお越しください。

21世紀を生き抜く子どもの学力形成

プログラム

(13:00~13:15) 開会の言葉~あいさつ

I部

13:15~14:15

基調講演

「21世紀を生き抜く子どもの学力とは何か」

講師：安彦 忠彦氏

神奈川大学特別招聘教授 名古屋大学名誉教授 博士(教育学、名古屋大学)

略歴：専門は教育課程(カリキュラム)論・教育方法・教育評価。当該分野の第一人者。長年にわたり中央教育審議会委員として学習指導要領の改訂など日本の教育政策の形成に携わる。

著書：『新版 教育課程編成論—学校は何を学ぶところか—』(放送大学教育振興会、2006)、『カリキュラム開発で進める学校改革』(明治図書、2003)、『中学校カリキュラムの独自性と構成原理』(明治図書、1997)、『新学力観と基礎学力』(明治図書、1996)など多数。



II部

14:20~16:20

シンポジウム

テーマ「子どもの学力形成について」

シンポジスト

松下 佳代氏

京都大学 教授



専門は、教育方法学(特に、能力論、学習論、評価論)。学力、授業、評価などの観点から実践的理論の構築に取り組まれている。博士(教育学、京都大学)。

青木 聡氏

学研エディケーショナル教務部 部長



平成2年3月学習研究社入社。平成7年より「学研教室」の教材編集業務に従事。担当教科は英語。分社化により平成21年から現職。

西端 律子氏

畿央大学 教授



専門は、教育工学と情報科教育。教育の情報化、情報モラル教育などの実践研究に携わっている。博士(人間科学、大阪大学)。

畿央大学 FAX: 0745-54-1600

お申し込み票

ふりがな			
お名前	(歳)		
ご住所	〒		
勤務先	電話番号	-	
メールアドレス	@	情報交換会	参加する・参加しない